

タイの選挙について

日本でもニュースなどで取り上げられていると思いますが、タイでは軍事政権からの民政移管に向けた総選挙の投票が3月24日に予定されています。今月はタイの選挙についてレポートします。

【選挙に至るまでの道のり】

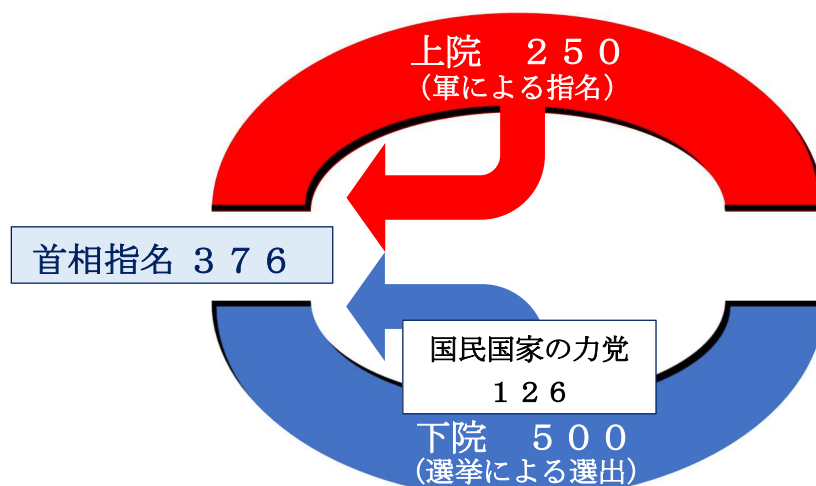
タイでは2014年に発生したクーデターにより軍部が政権を掌握し、軍事政権が続いていました。当初、クーデターを主導したプラユット陸軍司令官（後の暫定首相）は軍による統治が一時的であることを強調し、暫定政権樹立後ただちに民政移管へのロードマップを示しました。しかし、新憲法の起草や選挙制度をめぐる対立で何度も先延ばしされ、その間にプーミポン前国王が逝去されたため憲法の公布が遅れるなど、選挙の実施までに実に5年もの時間を費やしました。



プラユット首相

【タイの選挙制度】

タイの国会は両院制で、上院に相当する元老院（定数250）と、下院に相当する人民代表院（定数500）の二つの議院によって構成されています。今回の選挙で争われるのは下院の500議席で、選挙制度は小選挙区比例代表併用制（小選挙区350議席、比例区150議席）です。しかし、日本の小選挙区比例代表併用制とは違い、投票できるのは小選挙区の候補のみで、比例区の議席は小選挙区での得票率を反映して議席が分配される方式となっています。この方式では特定の政党が単独で圧勝するのは難しいとされている上、上院の250議席は事実上現在の軍政による任命で選出されているため、他の政党が単独で自らの候補を首相にするためには、下院議席の75%を確保しなければならないので、非常に高いハードルとなっています。それに対し、プラユット現首相を首相候補に擁立する国民国家の力党（パランプラチャーラット党）は、下院で126議席以上を獲得することで首相指名に必要な過半数の376議席を獲得できるため、現政権に有利という見方が有力です。



【主要政党】

| 政党名 | 特徴 | 勢力 |
|----------------------------------|--|----------------|
| 国民国家の力党 (パランプラチャーラット党) | 現首相であるプラユット首相を筆頭首相候補にあげ、軍政の主要4閣僚(選挙戦に集中するため、1月30日に辞任)が所属。今年2月実施の世論調査では支持率22.6%で第2位。 ※プラユット首相は政党に所属せず。 | 軍政派 |
| タイ貢献党 (プアタイ党) | 2014年にクーデターで失脚したインラック元首相(タクシン元首相の妹)が所属していた政党。2011年に行われた前回の総選挙では過半数となる265議席を獲得。今年2月実施の世論調査では支持率36.5%で第1位。 | タクシン派 |
| 民主党 (ブラチャーティパット党) | 2008年~2011年まで首相を務めたアピシット元首相が率いる、現存するタイ最古の政党。タクシン派との激しい権力闘争を繰り返してきた。今年2月実施の世論調査では支持率15.2%で第3位。 | 反タクシン派 |
| 新未来党 (アナーコットマイ党) | 従来に対立軸である親・反タクシン派のどちらにも与せず、軍事政権を否定して議会政治を目指す新しい勢力として結党された新党。若者からの支持を集める。今年2月実施の世論調査では支持率8.2%で第4位。 | 新興勢力 (反軍政派) |
| タイ団結国家開発党 (ルアムパランプラチャチャートタイ党) | 2013年にタクシン派インラック首相の退陣を求め、大規模な反政府デモを主導したステープ元副首相が選挙委員長を務める政党。 | 反タクシン派 |
| タイ国家維持党 (タイラックサーチャート党) ※解党 | プーミポン前国王の長女でワチラロンコン現国王の姉ウボンラット王女を首相候補として擁立した(後に取り下げた)が、この行為が「立憲君主制への敵対行為」とみなされ、3月7日憲法裁判所により解党が命じられた。 | タクシン派 |

【選挙の行方】

日本でもニュースで報じられましたが、ウボンラット王女を首相候補に擁立したタイ国家維持党が解党命令を受けたため、タクシン派は大打撃を受けました。これにより益々現軍政が有利となってきましたが、事前の世論調査では支持率1位となったタクシン派は、特に北部では圧倒的な人気を誇っており、選挙結果が出るまで目が離せません。そして、民主国家として正当な選挙が8年ぶりに、無事に行われることを期待します。

▶ タイ経済指標

| 項目 | 単位 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | |
|----------------|--------------------------------|---------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--|
| GDP 成長率 | 前年比ベ(%) | 3.2 | 3.9 | 4.2 | 4.2(18年1~12月) | |
| 人口* | 千人 | 67,506 | 67,697 | 67,869 | 67,869(18年12月) | |
| 労働者の数* | 千人 | 37,792 | 37,716 | 38,353 | 38,197(1月) | |
| 失業率** | % | 0.99 | 1.18 | 1.06 | 1.02(1月) | |
| 最低賃金* | バンコク チョンブリー アユタヤー ラヨー | パーツ/日 | 300 300 300 300 | 310 308 308 308 | 325 330 320 330 | 325(2月) 330(2月) 320(2月) 330(2月) |
| 賃金:全国製造業の平均 | パーツ | 12,402 | 12,473 | 12,831 | 13,526(1月) | |
| インフレ率** | 前年比ベ(%) | 0.19 | 0.67 | 1.06 | 0.27(1月) | |
| 中央銀行政策金利* | % | 1.50 | 1.50 | 1.75 | 1.75(2月) | |
| 普通貯金率** | % | 0.47 | 0.47 | 0.47 | 0.47(2月) | |
| ローン金利(MLR) ** | % | 6.47 | 6.35 | 6.32 | 6.32(2月) | |
| SET 指数* | 1975年:100 | 1,542.9 | 1,753.71 | 1,563.8 | 1653.48(2月) | |
| パーツ/100円** | パーツ | 32.53 | 30.27 | 29.26 | 28.80(2月) | |
| パーツ/米ドル** | パーツ | 35.30 | 33.9 | 32.31 | 31.56(2月) | |
| 円/米ドル** | 円 | 108.8 | 112.2 | 110.4 | 109.7(2月) | |
| 車販売台数(1月からの累計) | 台数 | 765,593 | 869,763 | 1,041,311 | 91,963(1月) | |
| BOI 認可プロジェクト | 件数 | 1,688 | 1,227 | 1,469 | 1,469(18年12月) | |
| BOI 認可プロジェクト金額 | 10億パーツ | 861.3 | 625.08 | 549.48 | 549.48(18年12月) | |

*期末、**平均

[出展: NESDB, BOT, MOL, SET, BOI]

岡山県タイビジネスサポートデスク
Asia Alliance Partner Co.,Ltd.

所在地: 1Glas Haus Building, 12th Floor and Room 502, 5th Floor, Soi sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd., Klongtoey Nua, Wattana, Bangkok 10110 Thailand

担当: 三橋 一史 (みはし かずし)

「岡山県タイビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のタイでの事業展開を支援しています(岡山県から [Asia Alliance Partner Co., Ltd.](#) に業務を委託)。
ご利用に当たっては、「[岡山県タイビジネスサポートデスク](#)」利用の手引きをご覧のうえ、
[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)(電話 086-226-7365)までご相談ください。